

単元名 (旧)(参考単元)ゴー！ゴー！ドリームカー(立体)

配当時間 6時間

単元の目標 (1) 車が動くように仕組みをつくり、より速く走るよう、車体への取り付け方や車輪の大きさなどを工夫し、飾るための材料を生かしながら工夫することができる。

(2) 自分がつくりたい楽しい車を思い付き、自分の思いに合った形や色を考えることができる。

作品を動かして遊び、工夫した点などを友達と話し合い、そのよさや面白さを感じ取ることができる。

(3) ゴム動力で動く仕組みに関心をもち、楽しい車をつくることに取り組もうとする。

基本的な展開例

04080308_001

【準備等】 空き箱、ペットボトルのキャップ、色画用紙、厚紙、段ボール、輪ゴム、ストロー、たこ糸、竹ひご、化学接着剤、カッターナイフ、カッターマット、目打ち、はさみ、のりなど

| 学 習 活 動 | 留 意 事 項 など |
|--|--|
| <p>1 教科書の作品を見て、動く仕組みを理解し、楽しい車づくりの計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻いたゴムが元に戻る力を利用して回転する仕組みを知り、活動の見通しをもつ。 ★ ゴムの力で動く仕組みを使って、あったらいいなと思う楽しい車をつくろう <p>○ つくってみたい車を想像し、簡単な図に描いてみる。</p> <p>2～3 計画を基に仕組みをつくり、仕組みがスムーズに動くか試してみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ なめらかに動くよう工夫しながら仕組みをつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ① 教科書の「いろいろな車りんの作り方」などを参考に、車輪をつくり、一方だけの車輪に車軸をつける。 ② 牛乳パックなど車の車体になるものに、目打ちなどを使って穴を開け、車軸を通す。 ③ もう一方の車輪をつける。 ④ 輪ゴムにたこ糸をつけた物を片方は車軸に、片方は車体に取り付ける。 <p>4～5 自分が考えたアイデアを基にして、車を装飾する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ できあがった仕組みから自分でつくりたい形や色、テーマなどの車になるよう飾る。 ○ つくりながら何度も試走し、走る様子を楽しみながらつくる。 <p>6 できた車で楽しく遊び、感想を友達と話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 出来上がった車をみんなで走らせ、作品の交流会をする(言語活動) <ul style="list-style-type: none"> ・ とても速く走るのが楽しい。 ・ 飾りのつくり方がおもしろい。 ・ 長く走る車がいい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 3・4 下 P. 44, 45 ・ 車輪のつくりやゴムの取り付け方などの仕組みは、あらかじめ指導者がつくったものを教室に展示し、児童が見られるようにしておく期間を設けておく説明がしやすい。 ・ 指導者もあらかじめ試作すると児童がつまづきやすいポイントを把握しやすい。 ・ 必要な材料・用具などについても考える。 【評】 材料を選んだり組み合わせたりして、乗ってみたい車に合った形や色を考える活動を通して、「発想や構想の能力」を評価する。 ・ 活動場所から近いところに試走コーナーを設置し、何度も試走できるように配慮する。 ・ 色画用紙や厚紙などの材料を生かしながら車体をつくったり、飾ったりする。 ・ 完成した作品をみんなで鑑賞し、面白さやよさについて形や色、動きなど造形要素を交えながら交流する場を設定する。 ・ 仕組みを生かした面白さに児童が気付けるよう助言をする。 【評】 自分の思いに合った動きや様子になるように、試しながら仕組みをつくり変えていく活動を通して、「創造的な技能」を評価する。 |

【 備 考 】